



子どものための歌曲及びオペラの作曲と日本 歌曲の作曲についての研究

人間文化学部 国際文化学科

教授 小玉 好行(こだま よしゆき)

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 2213号室
Tel 082-251-9889
E-mail kodama@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 音楽文化 声楽 作曲 指揮

キーワード： 子どもの歌 オペラ ミュージカル 作曲 指揮

●研究内容

○ 子どものための歌・オペラ・ミュージカルや日本歌曲の作曲などに取り組んでいます。

○ ヘンデル作曲「メサイア」の演奏(指揮)に取り組んでいます。

○ 子どもの歌について
(これまでの取り組みから)

(1)子どもを取り巻く音楽環境は年々過酷な状況となっており、リズム中心の楽曲が幅をきかせています。

(2)子どもの歌は本来、美しい旋律と豊かなハーモニーとでできた楽曲が望ましいと思います。

(3)子どもが生き生きと歌い、遊ぶことができる歌を作曲し、楽譜(音楽之友社/あたらしいーお・う・た)を出版しています。

○ 子どものためのオペラや音楽物語に関する研究

(1)子どもたちが喜んで鑑賞できるようなオペラや音楽でストーリーが進行する音楽物語の取り組みは数曲の作品となりました。

(2)それらの研究成果は次の通りです。

(1)戦時中、全国の児童は強制的に疎開させられましたが、音楽物語「撫子・疎開児童への家族の手紙」は平成6年に広島で初演され、広島県内はもとより、東京・ロサンゼルスでも公演されています。RCC ラジオでも放送されました。

(2)上田町(三次市)に住んでおられたおばあちゃんの昔話がミュージカルとして公演されました。これは「おばあちゃんのひざまくら」というタイトルで発表されたもので、民話劇2話とミュージカル2曲で構成されています。

(3)子どもを対象としたオペラも数曲作曲しています。「大声甚太」「セロ弾きのゴーシュ」「死神と貧乏神」「よっちゃんのビー玉」「帰ってきたつりがね」などです。

●作品の発表などについて

県内の小学校や幼稚園・保育所での公演のご要望がございましたら、ご連絡ください。